

第3回ショートキャンプ レポート

1月8日（土）～10日（月）に行った「第3回ショートキャンプ」を報告します。

このキャンプのねらいは「的や目標を正確にねらう楽しさを知る」、テーマは「スポーツを楽しむために必要な力を確かめる」でした。主なプログラムは、下記のとおりです。

（1）知的能力育成プログラム「チームから見た私、私から見たチーム」

指導者：勝田隆氏 栗木一博氏 阿部篤志氏 藤本晋也氏 久保毛ふみ氏（仙台大学・関係者）



「飛行機内を再現！アナウンスもすべて英語！」 「入国審査を受けます、年齢は？入国目的は？」

2016年リオデジャネイロオリンピックに向かう飛行機内と入国審査場を再現。機内での説明や、入国審査などのすべてが英語で行われる中、プレッシャーに耐えながら、集団での行動を考えました。

（2）基礎運動能力育成プログラム「射的運動（アーチェリー）」

指導者：前田栄一郎氏（JOC：全日本アーチェリー連盟） 野崎剛氏（JOC 推薦：県アーチェリー連盟）



「洋弓を引く姿勢が大事、背筋を伸ばして！」

「的を見定めて、正確にねらって打つ！」

射的運動（アーチェリー）では、的＝目標を正確にねらう能力の向上をめざしました。個人練習では矢を放つ＝リリースするまでの動作を学びました。そして、プログラムの最後はチーム戦。周囲の目やチームメイトの声援などのプレッシャーにも耐えながら、狙った的を射る楽しさを感じました。

(2) 競技別運動能力トレーニング「フェンシング」

指導者：富田智子氏（JOC 推薦：日本フェンシング協会） 池田めぐみ氏（JOC 推薦：日本フェンシング協会）
遠藤知紗氏（県フェンシング協会）



「フェンシングの身のこなし、マルシェ（前）」



「剣を握り、防具をつけて、より専門的に」



「いよいよ試合。講師の先生からほめられた！」



「山形出身の大先輩、池田めぐみ選手に挑戦！」

運動技能だけでなく、フェンシングの起源やルール、フランス語での専門用語も学びました。剣を握る前に、フェンシング特有の身のこなしをトレーニングし、いよいよ剣を握り、防具をつけての試合形式では、講師の先生方も驚くほどの剣さばきを見せるキッズもいました。

(4) 知的能力育成プログラム②

「タイムデザイン」



キッズが自分で時間の使い方を考え、プログラムを選択＝デザインします。工夫できるようになりました。



山形県教育委員会 相馬周一郎教育長から

激励していただきました！

一問い合わせ先ー

山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会事務局 HP：<http://www.y-dreamkids.jp/>

990-2412 山形県山形市松山二丁目11-30 TEL：023-615-6415/FAX：023-615-7933

